

令和元年度難病患者等コミュニケーション支援講座 (応用編：事例を通して考える)

筋萎縮性側索硬化症（ALS）や多系統萎縮症などの神経難病等では、身体症状や呼吸機能障害に伴いコミュニケーション障害の課題が顕著になります。そこで神経難病患者さんの事例を通じて、コミュニケーション支援の導入方法、ニーズを踏まえた文字盤等コミュニケーション機器の選択、病状に応じたスイッチの調整方法など、参加者の皆さんと一緒に学ぶ講座を開催します。現在支援に従事されている方、これからの支援のために学んでおきたい方など是非ご参加下さい！

参加
無料

内容：

I 講義

(1) コミュニケーション支援とは

講師：宇多野病院リハビリテーション科 言語聴覚士 小國由紀先生・飯高玄先生

(2) コミュニケーション機器とスイッチの種類

講師：ICT 救助隊 今井啓二先生・仁科恵美子先生

(3) 補装具等支給制度と申請の流れ

講師：京都府家庭総合支援センター相談・判定課 大西 武史先生

II 事例検討

グループワーク：「病状初期の導入」と「病状進行期の調整」

- ・事例を通じて検討
- ・各グループの検討内容を全体共有

日時：令和2年2月15日（土）13時30分～16時30分（受付開始13時）

場所：京都経済センター4階 4-B会議室
(京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地)

対象：京都府内の医療・保健・福祉・介護等従事者 30名

申込方法：専用FAX用紙（裏面）にてお申し込みください

申込期間：12月16日（月）受付開始 1月15日（水）締切



締切後に受講決定通知書をお送りします。応募者多数の場合は、抽選での選考となります。

お問い合わせ：京都難病相談・支援センター

電話：075-414-7830（月～金：9時～12時・13時～16時）

FAX：075-414-7832（必ず連絡先を記載してください）

主催 京都難病相談・支援センター